

富津市立保育所自己評価書

(中央保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和4年4月～令和5年2月

令和5年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	<p>家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。</p>	A	<p>家庭との連携を密に行い、嘱託医とは情報共有し、健康や発達について指導を受け、適切な対応ができるようにしている。</p>
	<p>愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。</p>	A	<p>1対1での関わり、コミュニケーションを大切にし、一人ひとりの子どもがのびのびと過ごせる環境づくりや見とおしをもって安定して過ごせるように取り組んでいる。</p>
	<p>様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。</p>	A	<p>困っている子に寄り添い、子どもと一緒にひとつひとつ確認しながら行ったり丁寧に言葉掛けをしたりしている。</p>
人間関係	<p>子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。</p>	A	<p>一人ひとりの個性を大切にし、担任だけでなく全職員で共通理解をし、関わっている。</p>
	<p>生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。</p>	A	<p>保護者の仕事や赤ちゃんとの関わりなど、子どもたちの興味を持ったことを遊びの中に取り入れ必要な道具や環境設定をし、遊びが展開できるようにしている。</p>
	<p>自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。</p>	B	<p>保育者が子どもの気持ちや自己主張を受け止めることで安心したり、友だちの気持ちに気付</p>

			くことができるように仲立ちをしたりしている。
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	A	子ども自らが頑張っている姿を保育者が認めたり、子どもが意欲を持って取り組めるように言葉を掛けたりしている。
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	ダイナミックな活動に興味を持った子の姿を認め、活動が豊かになるよう、保育者も五感を十分に働かせ一緒に楽しんでいる。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	子どもたちの興味のある玩具を用意し、その性質に気付く事で発想の広がりがみられた。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	自然の変化や体感したこと、不思議に思ったことを友達や職員と共有し合い楽しんでいる。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	A	遊びや生活のなかで気づいたことを知識に繋げられるように促したり、意味を知らせたりし、関わっている。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	共感したり気持ちを代弁したりし、思いを言葉で伝えられるよう援助している。上手く思いを表現するのが苦手な子には、気持ちを汲み取り表現方法を知らせている。

	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	絵本や紙芝居、わらべうた等に親しんで過ごせるよう取り入れて関わっている。絵本の世界を模倣し、ことばのやりとりを楽しんでいる。
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	ゆっくり話をする時間を大切にし、聞いてもらう経験をとおり相手の話も聞けるように関わっている。
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	職員が手本となりその都度、状況にあわせた挨拶や適切な言葉を知らせている。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	子どもたちの興味や反応に合わせてその時季ならではの遊びをダイナミックに取り入れている。素材の感触や変化も楽しんでいる。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	A	体操やリズム、わらべうた等、個々の楽しみ方を認め、「またやりたい」と次に繋げられるような期待が持てるようにしている。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	子どもたちの気付きを広げたり、共感したりしてたっぷり味わって楽しめるようにしている。製作や遊びをとおり様々な材料を活用し、木の実や葉っぱなど自然物で遊んでいる。

	<p>生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。</p>	A	<p>できなかったことができた感動や美しいと感じたことを共有している。気持ちを受け止めてもらえる環境の中でのびのびと思いを表現し、安心感を持って発信していけるようにしている。</p>
<p>保護者への支援</p>	<p>一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている</p>	A	<p>連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝えあい、一日保育士体験をとおして保育所の様子を知ってもらった。要望に応じて個別面談を行い、家庭の様子や悩みを聞いたりし相談し合える場を設けた。保護者が安心して預けられるよう配慮した。</p>
	<p>家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。</p>	A	<p>保育に活かせるよう保護者と情報交換したことは、日誌や児童票に記録している。</p>
	<p>保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。</p>	A	<p>全職員が保護者の相談や意見を丁寧に聴き、共通理解を図り速やかに対応している。保護者が安心して預けられるよう迅速に対応した。</p>
<p>行事</p>	<p>行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。</p>	A	<p>ねらいに沿った計画を立て、子どもが興味や関心を持って取り組み、地域の方にも協力してもらいながら楽しめる企画をしている。</p>

	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	感染症対策や実施時間などを工夫したうえで、できる限りの事を行った。保護者会と相談し協力を得ながら行う事が出来た。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	行事ごとに企画書を作成し、実施後には反省点・改善点などを探り、次回に活かしている。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A	守秘義務やプライバシー保護を全職員が遵守している。個人情報に関する文書は場所を決め保管している。
	園内研修を実施している。	A	「子どもが安心してすごせる環境」を年間テーマとして研修を実施。それぞれが意識できるように保育カリキュラムにも取り入れている。感染症対策、わらべうた、リズムの研修を実施した。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	A	保護者の目にとまりやすい場所にドキュメンテーションや子ども達の作品を掲示し、活動内容が分かりやすいように工夫している。感染状況を玄関や入口に掲示して子どもたちの様子や対処法を具体的に知らせている。